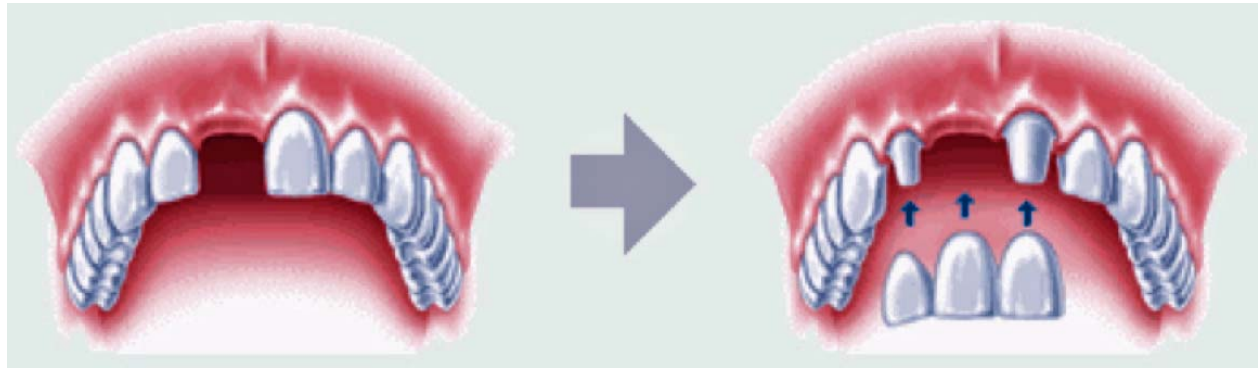


歯科インプラント (人工歯根) 治療とは

信州大学医学部
歯科口腔外科学講座
栗田 浩

歯を補う方法

- ブリッジ（橋義歯）



- 入れ歯（義歯）

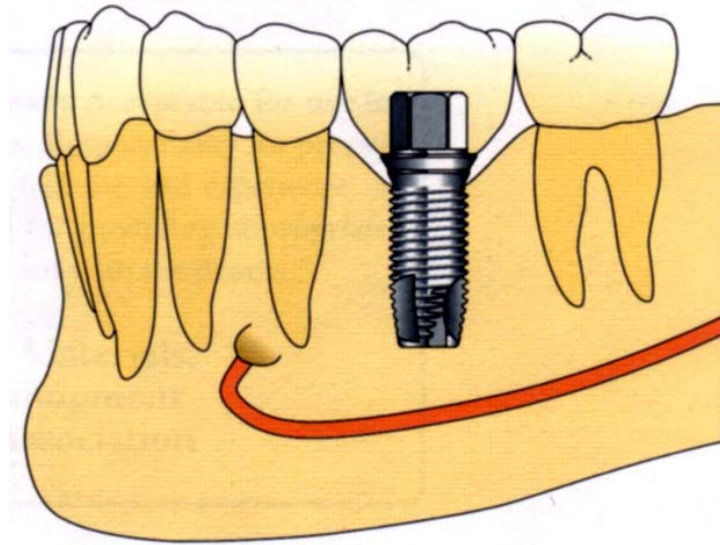
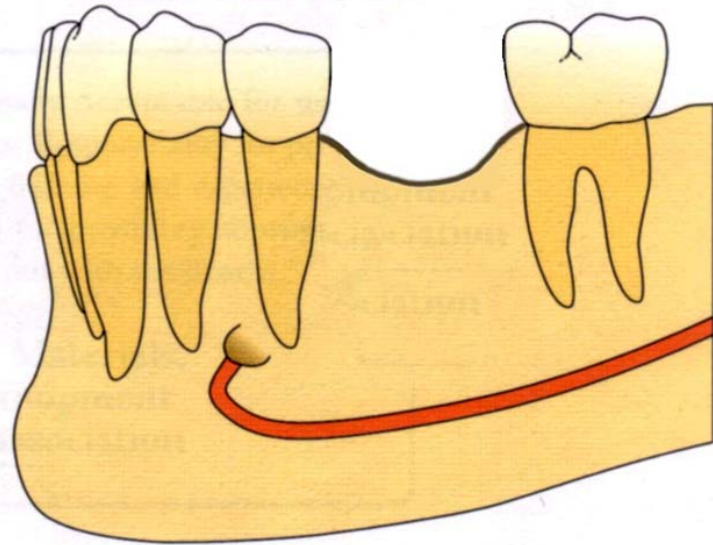


- 歯科インプラント（人工歯根）

歯科インプラント

(人工歯根、デンタルインプラント)

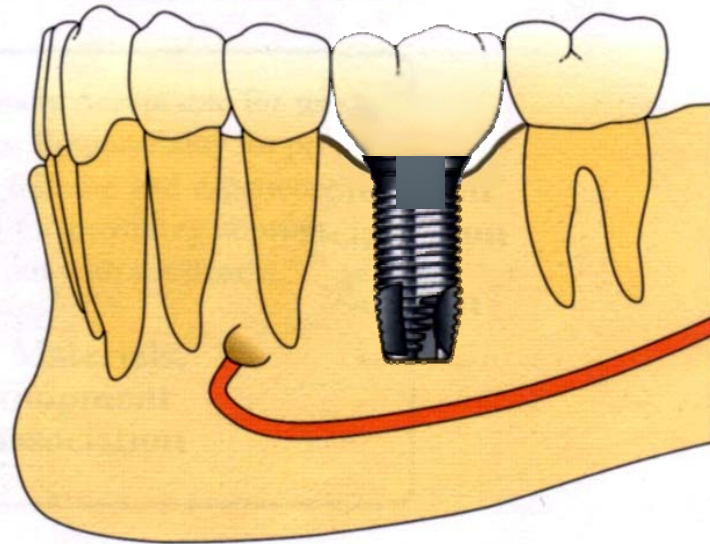
歯科インプラント療法とは、人工の歯根をあごの骨の中に埋め込み、それに歯を装着することにより、無くなったご自分の歯を補う方法です。



歯科インプラント

(人工歯根、デンタルインプラント)

歯科インプラント療法とは、人工の歯根をあごの骨の中に埋め込み、それに歯を装着することにより、無くなったご自分の歯を補う方法です。

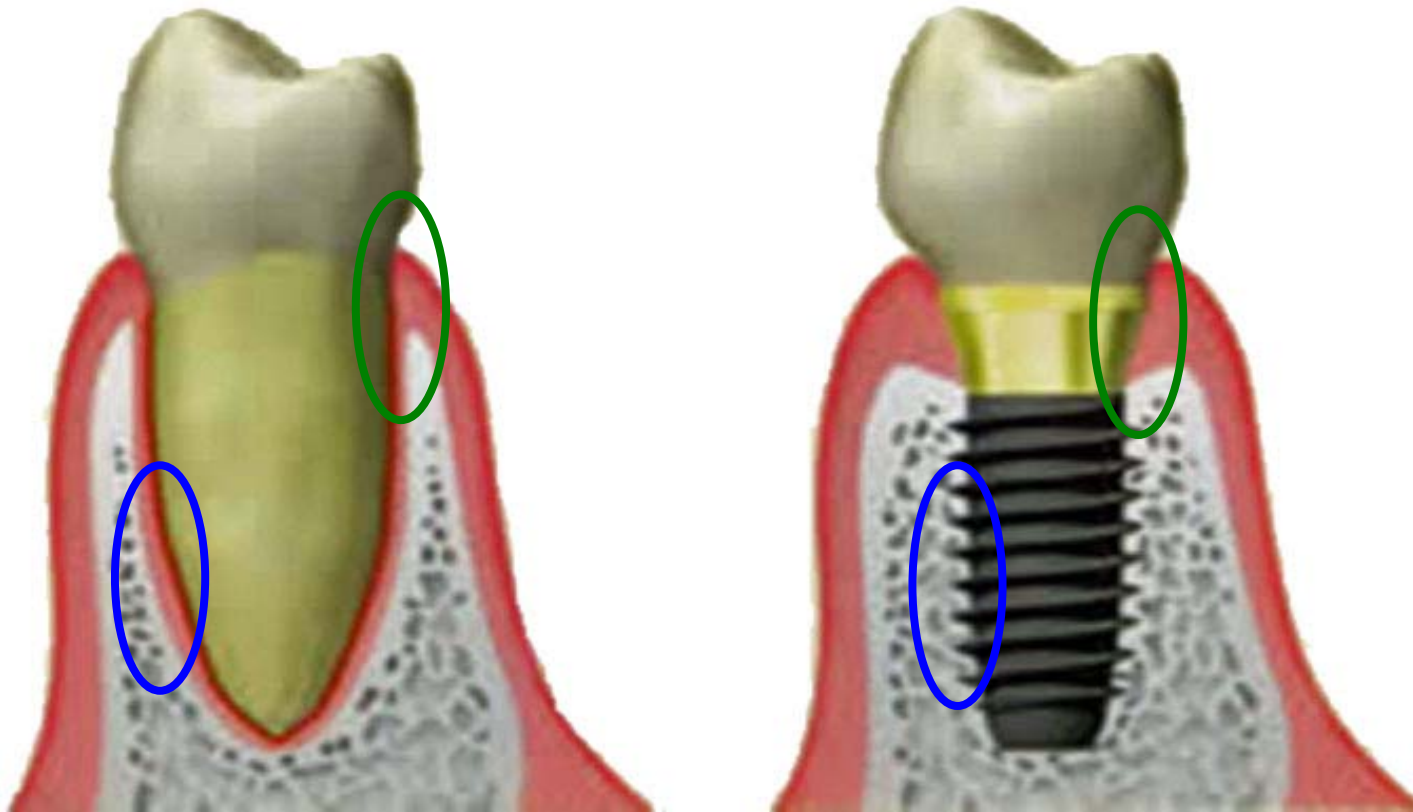


いわゆる差し歯
とは異なります。



天然歯

インプラントによる歯



- 1, 人工歯根は直接骨と結合します。
* 天然の歯の様なクッション（歯根膜）はありません。
- 2, 歯と歯ぐきや骨との境が弱くなります。
* 歯周病（歯槽膿漏）になりやすくなっています。



えっ！
ほねにネジを入れるのですか？

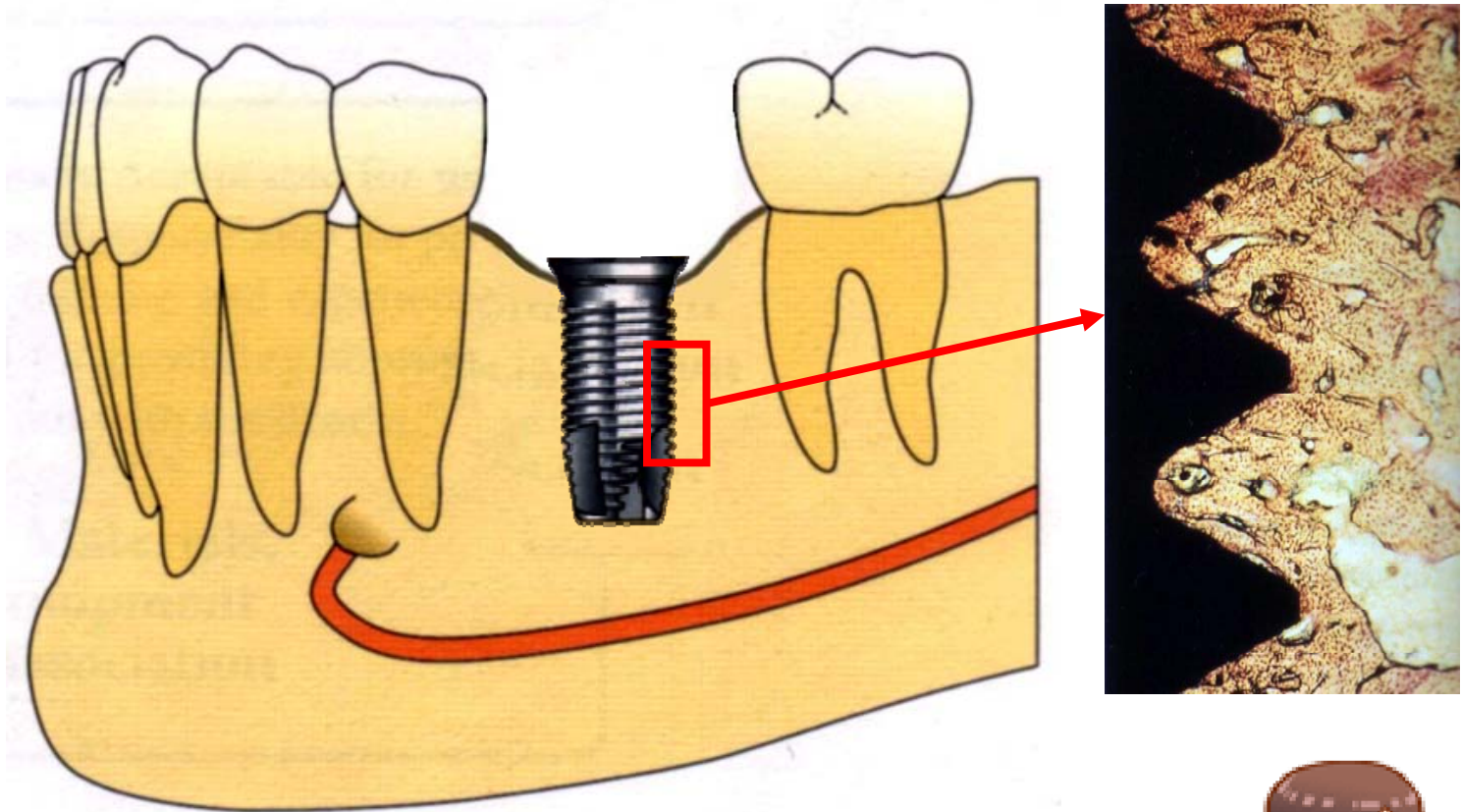
- 体に適応する特殊なネジ（生体適合材料 ex.チタン、アパタイト）を使います。
- 骨折などの治療にもほねをつなげるために使用されています。



骨折



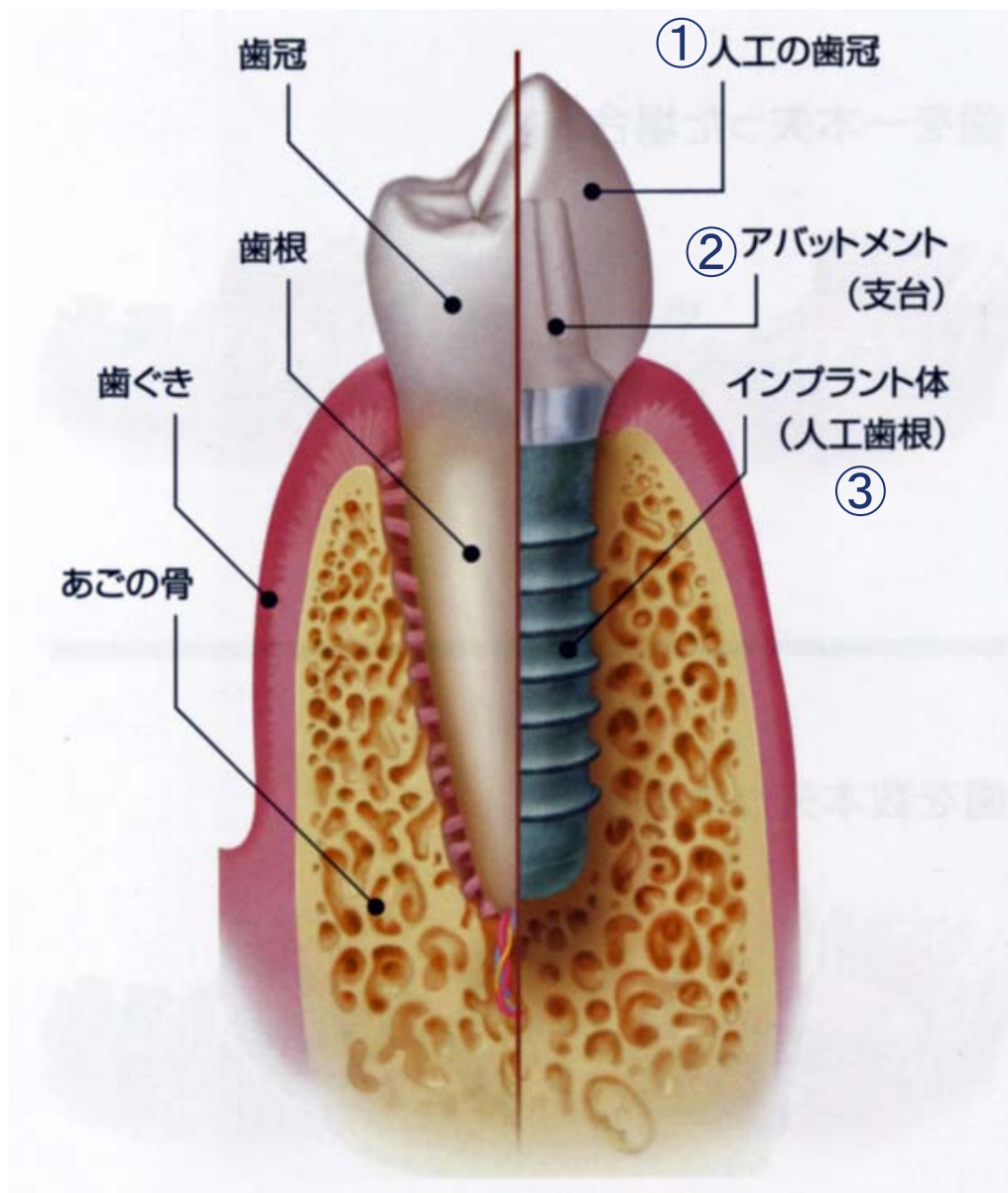
デンタルインプラント体



オッセオインテグレーション
(骨 (osseo) + 結合 (integration))
して、体の一部となります。



歯科インプラント（人工歯根）の構造



①人工の歯冠

②支台（アバットメント）

③人工歯根（フィクスチャー）

3つの部分からできています。



3ピース



2ピースもあります

おおまかな治療のながれ

1



麻酔をかけてあごの骨に
インプラントを入れる
穴をあけます。

2



穴のなかにインプラント
を埋め込みます。

3



インプラントがあごの骨と
結合し、固定される期間を
置きます。(3ヶ月から6ヶ月。
個人差があります。)

4



2回目の手術でインプラントを
露出させます。

5



アバットメントをインプラントに
装着します。

6



クラウンをアバットメントに
かぶせて完了です。

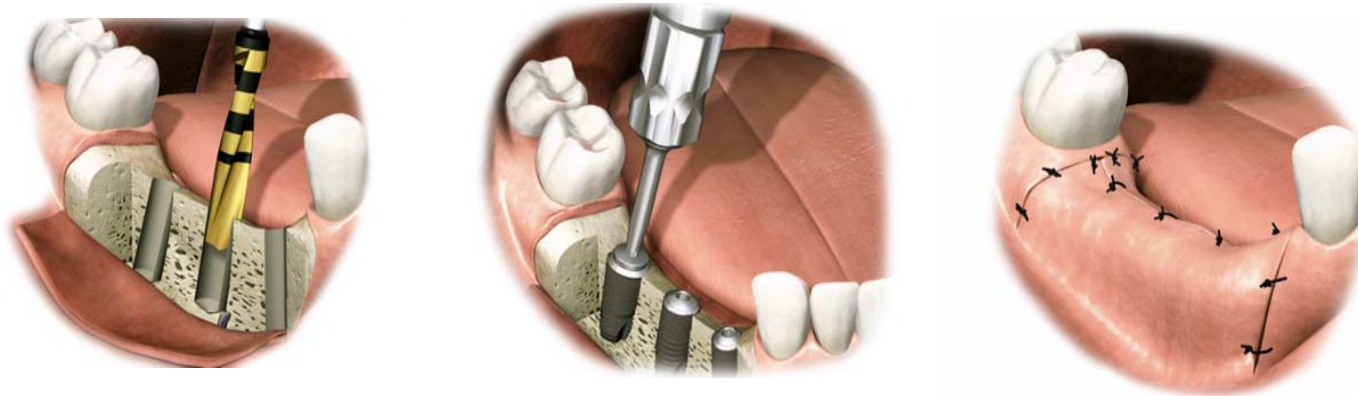
1 回法と 2 回法

— 一部位やあごの状態により選択します —

1 回法： 1 回の手術で口の中にインプラントを露出しておきます。



2 回法： 1 回目の手術ではインプラントを歯ぐきの下に埋めておきます。



2 回目の手術で、インプラントを口の中に露出させます。

Q：「誰でも治療は受けられますか？」

顎（あご）の骨が完成（20歳前後）した、健康な方なら誰でも治療を受けることができます。

病気をおもちの方でも、多くの方は治療を受けることができます。

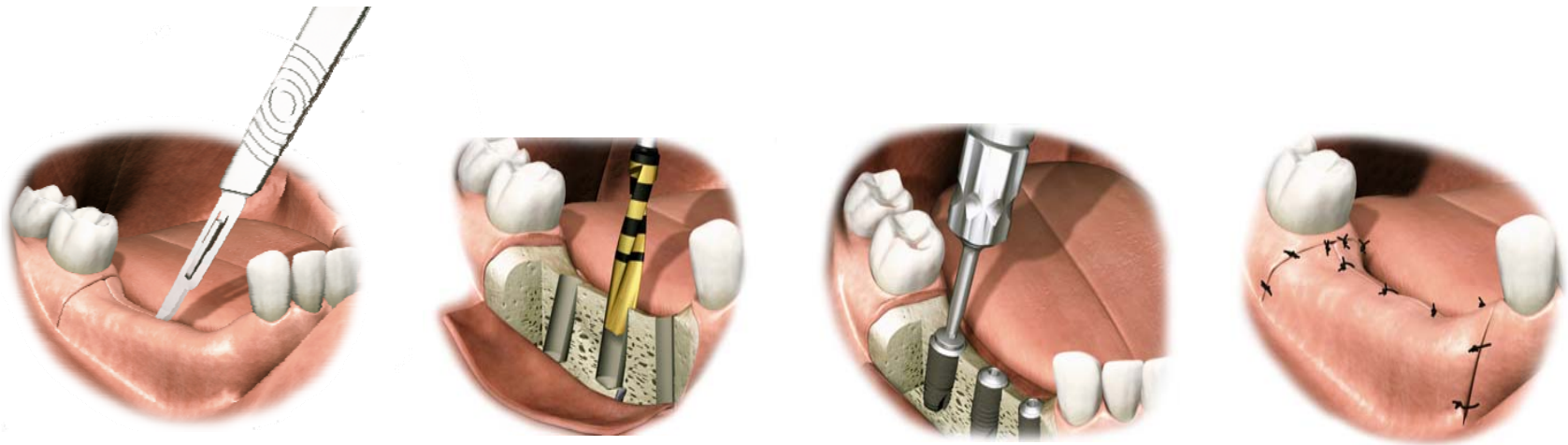
→ 詳しくは担当医にご相談ください。

顎（あご）の骨が少ない、やせている方でも工夫をすることにより、インプラント治療を受けることができます。

→ 詳しくは担当医にご相談ください。

Q: 「インプラントを埋める手術は大変ですか？」

通常の手術は30分（～1時間）ぐらいです。
やや難しい抜歯の程度だと考えて下さい。
手術後は通常の生活が可能です。



Q: 「歯ができるまでどのくらいかかりますか？」

部位や個人によって差がありますが、手術から4～7か月後に歯が入ります。

待っている期間は仮の歯を使用することができます。



Q: 「インプラントはどのくらいもちますか？」

お口の中の衛生状態に大きく関係します。
衛生状態が悪いと寿命が短くなります。

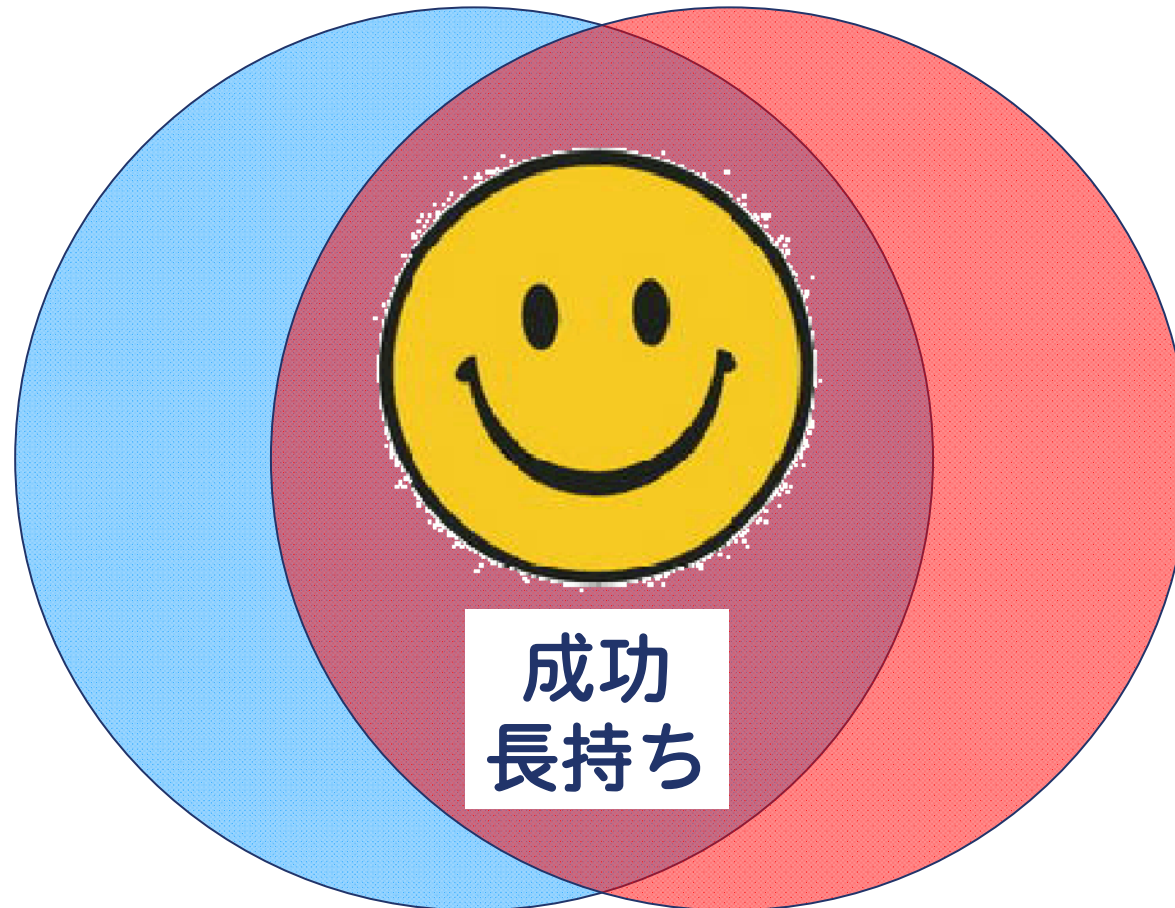


衛生状態が良い場合 5 年(10年)持つ確率は、
上顎（上あご）で90~95%
下顎（下あご）で93~98%です。

インプラント治療の予後を左右する因子

治療を受ける側の因子
(患者さん)

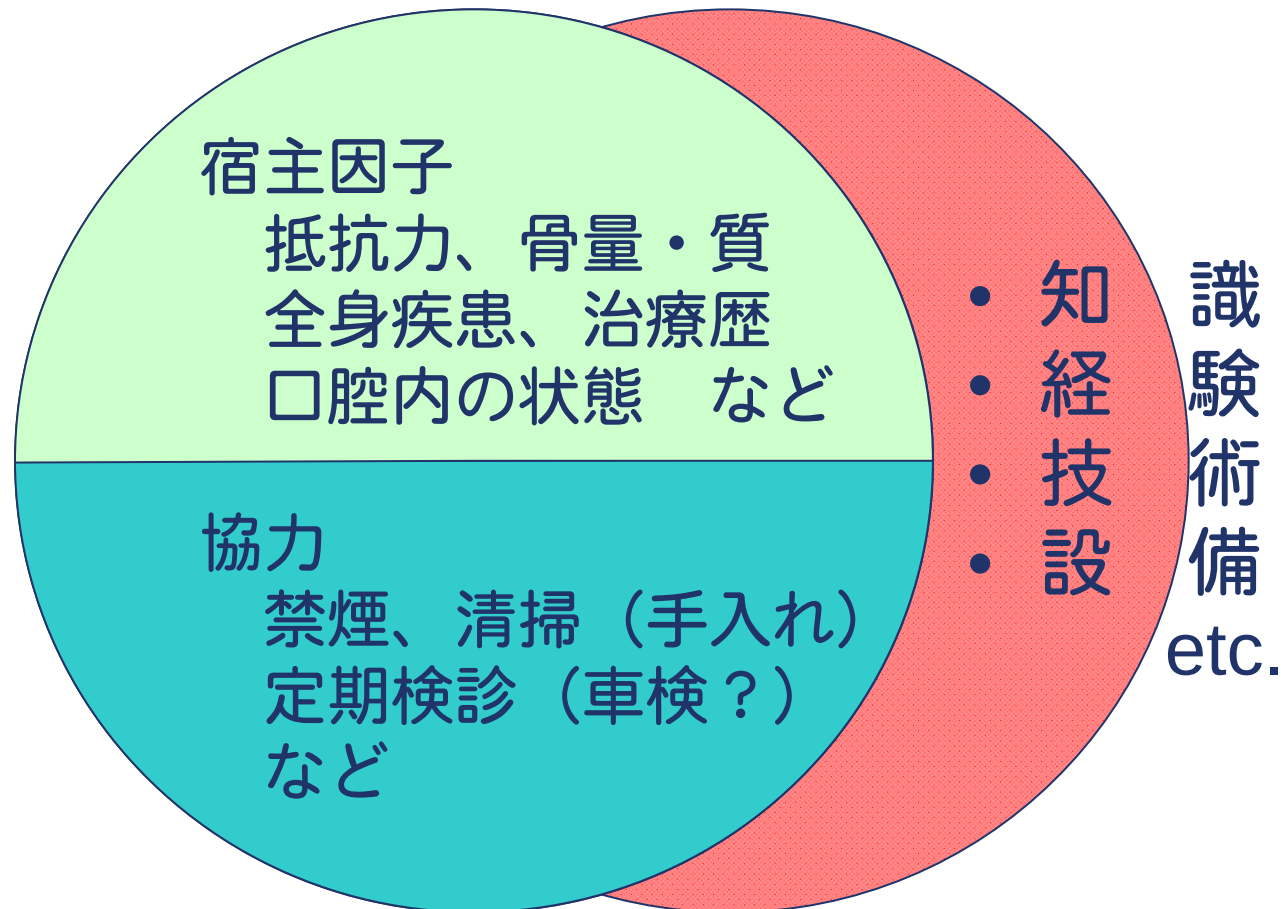
治療する側の因子
(歯科医等)



インプラント治療の予後を左右する因子

治療を受ける側の因子
(患者さん)

治療する側の因子
(歯科医等)



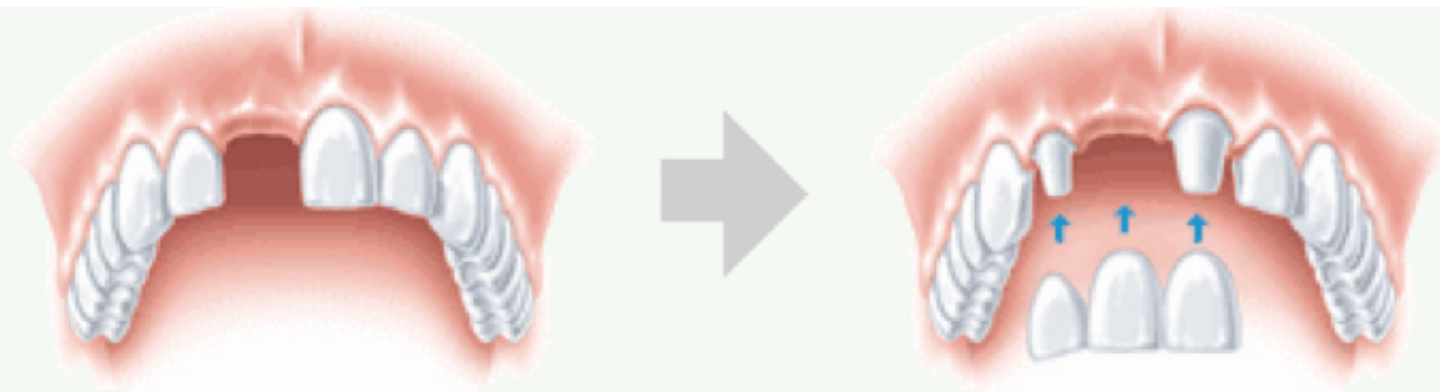
Q:「費用はどのくらいかかりますか？」

自費診療になりますので、健康保険は使えません（一部を除く）。

本数、つくる歯の種類（冠、入れ歯）などにより金額は異なりますが、目安として人工歯根1本あたり20～40万円ほどです。

→ 詳しい金額は担当医にお尋ねください。

従来のブリッジによる治療方法



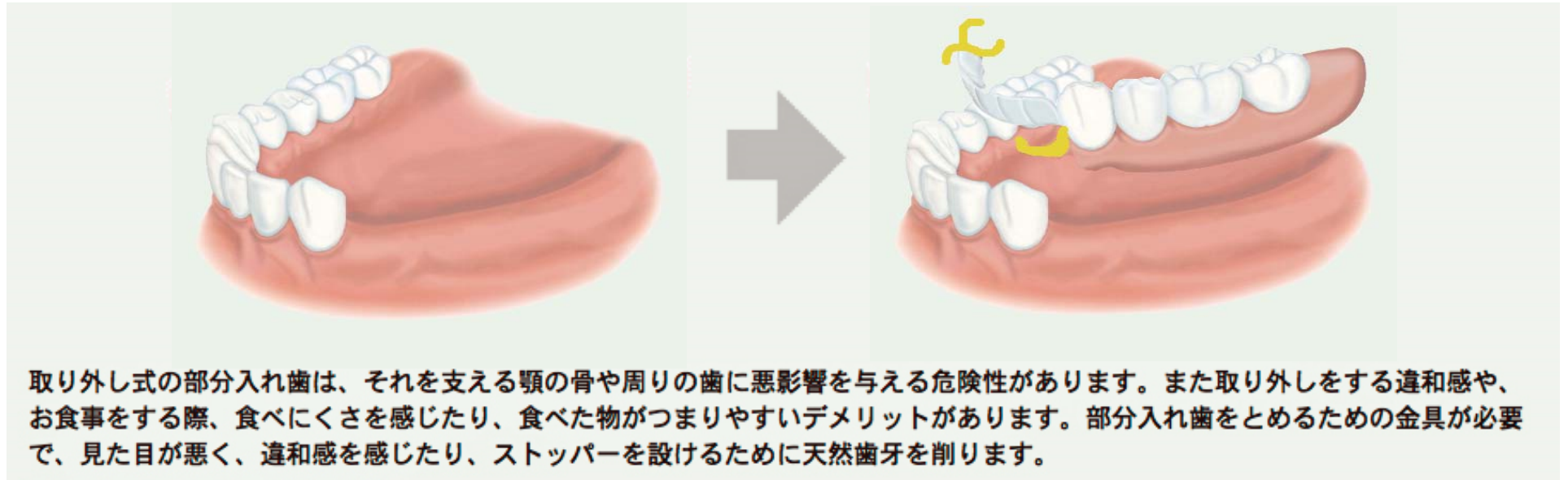
ブリッジでの治療の場合、失った歯が一本でも、その両隣の健康な歯も削らなければなりません。健康な歯は、削ることによりその歯の寿命を短くする恐れがあります。

インプラントによる治療方法

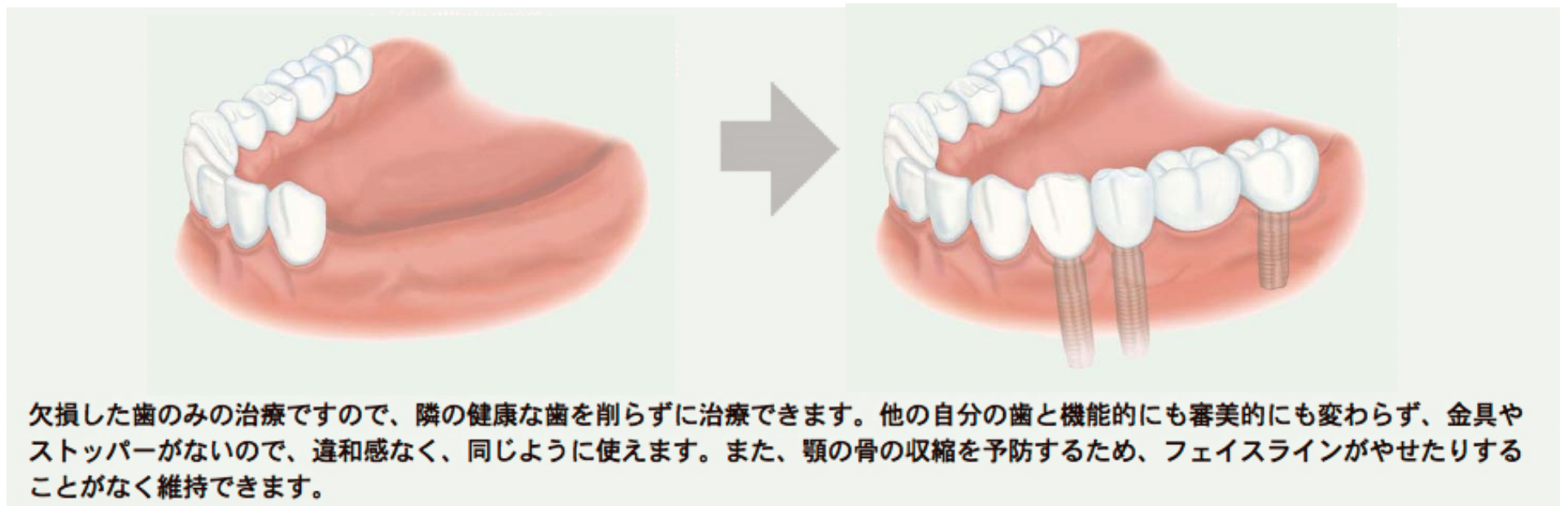


インプラントを歯が失われた場所に埋め込みます。通常治療時間は20～30分です。インプラントの治療期間は一時的な仮歯を取り付け、最終の人工歯冠を治療後に取り付けます。抜けた歯のみの治療ですので、隣の健康な歯を削らずに治療できます。他の自分の歯と機能的にも審美的にも変わらず、同じように使えます。

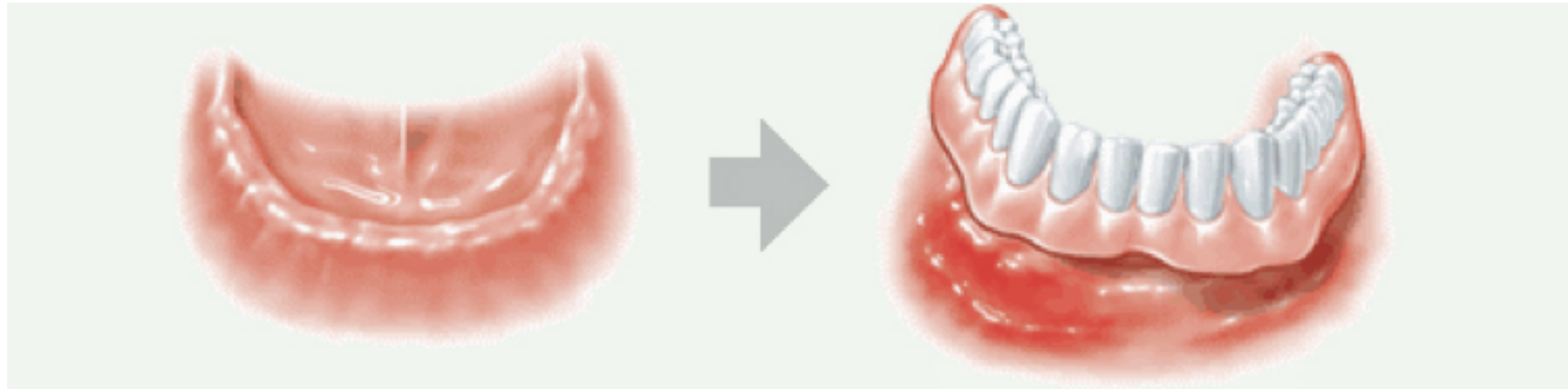
従来の取り外し式部分入れ歯による治療方法



インプラントによる治療方法

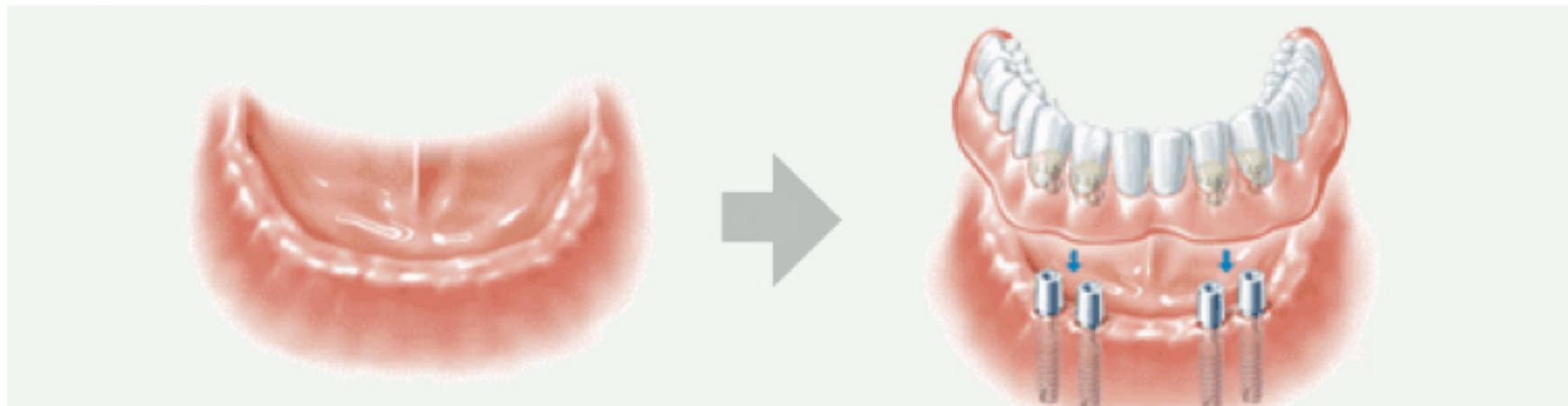


従来の取り外し式総入れ歯による治療方法



取り外し式の総入れ歯は、それを支える入れ歯安定剤が必要になる場合もあります。また顎の骨や周りの歯に悪影響を与える危険性があります。さらに取り外しをする違和感や、お食事をする際、食べた物が内側に入って痛みを感じたり、つまりやすいデメリットがあります。いつ人前ではずれるかわからないという心配もあります。

インプラントによる治療方法



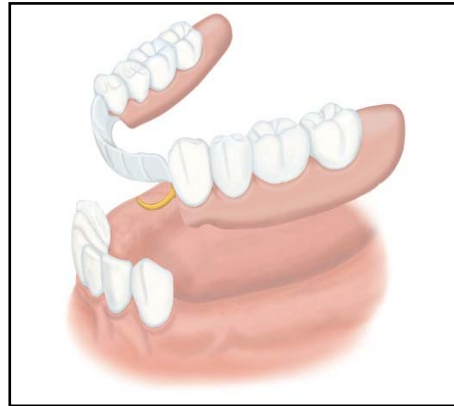
インプラントを使用して義歯を固定します。取り外し式と固定式の2種類があります。

ブリッジ



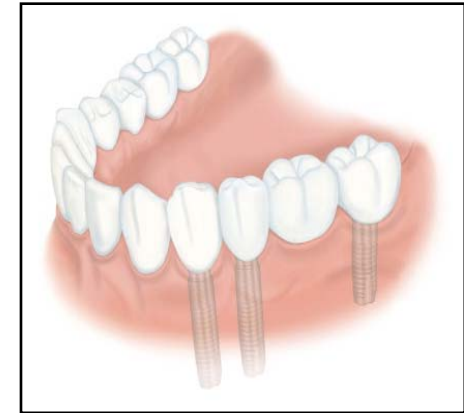
- 固定式である為、装着してもあまり違和感がない。
- ブリッジを支え、固定するために、たとえ健康な場合でも両隣在歯を削る必要がある。
- 支えになる歯には大きな負担がかかり、将来的にその歯を失う原因となる場合がある。

入れ歯



- ブリッジでは適応できない大きな欠損に有効。
- 健全な歯を削らずに補える。
- 噛む力が健康な状態に比べて **3割～4割** くらいになる。
- 口の中に違和感を感じやすい。
- クラスプにより隣在歯への負担が大きい。

インプラント



- 違和感なく噛むことができる。
- 咬合力が天然歯の**約8割**回復できる。
- 隣在歯を削る必要がない。
- 見た目が天然歯に近い。
- 手術が必要である。
- 口腔内の十分な衛生管理が必要である。
- 保険がきかない。

歯科インプラント治療は良い治療法ですが、万能な治療ではありません。

利点・欠点を良く理解して、歯科医師とよく相談して、治療を進めましょう。

